

問題点

昔ながらの手作業事務と会計事務所まかせの経理。事務生産性が低いのはあたりまえ、損益は決算書で見るだけ。これまでは、こんな時代遅れの方法でもなんとか生き延びてきたが、令和の時代では無理のような気がする。



解決策1(手が届かない)

巷ではクラウドサービスという良いサービスが存在するらしい。これをうまく利用すればいける気がする。しかし、どんなものがあるのかわからないし、選定できる人材もいない。コストも小規模企業にとってどうだろうか。実際、なかなか手が届かない。

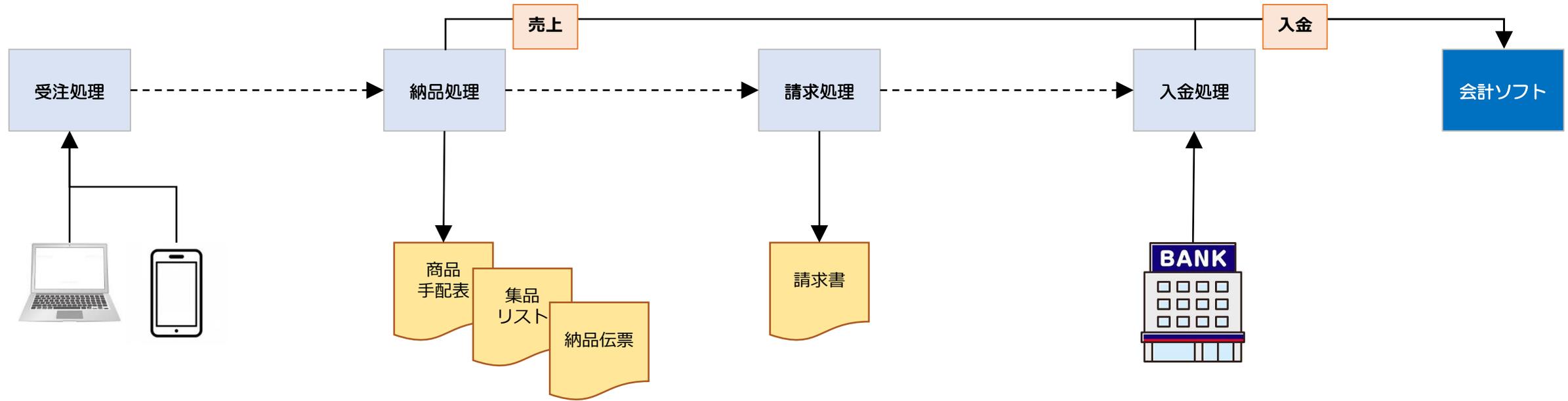


解決策2(ちょうどいい)

受注、商品手配、集品、納品書、請求書、入金消込、など必要十分な仕組みは揃っており、シンプルでわかりやすい。ローコード開発ツールで作成されているから、自分たちでも機能追加が検討できる。機能もコストもちょうどいい。



ちょうどいいDXシリーズ「受注から入金までアプリ」機能一覧



受注処理機能
<ul style="list-style-type: none"> ・ メール経由で受注 ・ クラウド経由で受注（スマホ発注可能） ・ 受注一覧表 ・ 受注計上の自動化（RPA処理） ・ 日次発注、週間発注、月間発注に対応

納品処理機能
<ul style="list-style-type: none"> ・ 商品手配表 ・ 集品リスト ・ 納品伝票 ・ 販売単価の商品別一括変更 ・ 産地一括登録（生鮮品用） ・ 売掛/売上の会計連動

請求処理機能
<ul style="list-style-type: none"> ・ 月締め請求書 ・ 納品書別請求書 ・ 残高管理と個別管理の両方に対応 ・ 顧客別入金口座に対応

入金処理機能
<ul style="list-style-type: none"> ・ 口座入金データとの連動 ・ 顧客別入金口座による入金処理 ・ 一部入金対応（残高管理先のみ） ・ 入金/売掛の会計連動